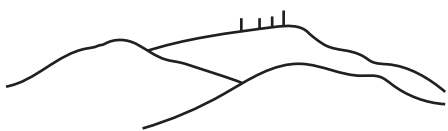


# Youth Manna

2021/10/18 - 10/24



マルコ 1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2021/10/18(月)

## ヨブ記 9:21-35

友人ビルダデの主張に、ヨブが答えている。  
①神は、潔白な者も悪者も共に断ち滅ぼされる(22)。この世界は、不正や暴力を黙認する悪者達によって支配されているが、この状況を許しているのも神である(24)。②神は、なぜこのような苦痛を自分に与えるのか、わからない。自分は潔白だと思っていたが(21)、③神は、自分のことを罪なき者とはしてくださらない(28)。しかし、自分に罪があるなら、その罪がきよめられる方法もない(30-31)。この苦しみから解放される道はない。神と自分との間に、仲裁者がいないから(33)。――主が「潔白で正しく、神を恐れ、悪から遠ざかっている(ヨブ記 1:8)」とまで言われたヨブでさえ、1人で主の元へ行くことはできなかった。キリストが、私たちが神の御元へ導かれるために十字架にかかってくださったこと。今日それをじっくり味わおう(1ペテロ 3:18)。

2021/10/19(火)

## ヨブ記 10 章

ヨブは神様に対して、心の中にあることを隠さず語っているね。人は神の最高傑作として創造されたのに、神はなぜ人を容赦無く罰して滅ぼそうとされるのかと、ヨブはここで訴えている。

人生には、自分の理解できないことや、全てが否定的にしか見えないことも起こる。ヨブの叫びにも、神様はすぐその場では答えていないけれど、後になって神様はヨブに直接語ってくださるよ。

君は神様になんでも言える関係を持っているかな？嬉しいことも辛いことも、ことばで言い表せないような感情も、神様は受け止めてくださる方だ。心の中にあることを何でも神様の前に出して祈っていこう。

2021/10/20(水)

## ヨブ記 11 章

ヨブの語りに、ツォフォルが口を開く。彼は、ヨブに対してしっかり反論できる者はいないのだから、もう神に語っていただくほかはない、神に対してそんな口の聞き方をしてはならないことを神に明らかにしてもらおうと言う(5-6)。ツォフォルはヨブの目を神に向けさせようとするが、ヨブはすでに神に目を留めている。また、ツォフォルは最後に、不法や不正を取り除け(14)と悔い改めを勧める。

ツォフォルは痛んでいるヨブを見舞いに来て、状況をよく理解しようともせず、頭ごなしに余計なことを言った。一部を切り取れば正しいことをいっているかもしれないが、ヨブの思いとは全く噛み合わないものであった。

その状況において神が何と言っているか、いつも神に目を留めていられるよう祈ろう！

2021/10/21(木)

## ヨブ記 12 章

引き続きヨブの苦しみである。

14v～では、神様が破壊者に見える時のことを述べている。ヨブの悩みは、知っているか知らないかではない。知っているがなぜ、そのようなことが起きているのか、である。

なぜ神さまが全てを支配しているはずなのに、矛盾があるのか。不幸や苦しみを許しておられるのか。神のみこころはなにか。

私たちには分からないことがたくさんある。私たちにははかりしてない領域がある。神様のみこころを常に求めよう。

分からないこと、思うことは仲間と分かち合おう！

2021/10/22(金)

## ヨブ記 13 章

ヨブは3人の友人たちを激しく非難しているね。友人たちは確かに人生の法則のようなことを語るけれど、少しもヨブの現実を理解しようとしていなかった。まるで神様の代わりのような友人たちの語り口を、ヨブは厳しく指摘している。

そして20節から、ヨブは神様へ直接語りかけている。ヨブはここで初めて、この苦難が罪のためであるなら、それは自分の「若いときの咎」かもしれないと言っている。人生を通して罪を犯さなかった人はいるだろうか。神様の前に正しい者として立てる人は誰もいないね。

罪に満ちた私たちのために、イエス様が十字架にかかってくださったことを思い巡らそう。

2021/10/23(土)

## ヨブ記 14 章

ヨブは今日の箇所でも、友だちの言葉に返しているように語り続けているね。その中に私たち人の深い部分について書かれているところがあるんだ。

まず、人の一生は短くはかないってこと、必ず終わりがあって、最終的に神様の罪への裁きがあるということ。そして、それに対して「私の代わり」が必要なんだということ。

ヨブの時代は、イエス様がまだ来ていなかったけど、今だから分かるのは、この罪の結果全てを代わってくれたイエス様がいてることだね。だから、私たちの人生はむなしく終わらない！イエス様の救いが実現した時代に私たちは生きているんだ。そのことを覚えてすごしていこう！そして、それをまだ知らない友だちに分かち合おう！

2021/10/24(日)

## ヨブ記 15:1-16

エリファズは1回目の弁論では同情的でしたが、2回目は攻撃的で、その口調は怒りと苛立ちに満ちています。ヨブはエリファズに高慢に陥っていると誤解されたまま議論が進みます。

ですが、エリファズの言葉から教えられることもあります。彼は13節で神様に対して物を言う時はもっとつつしんで、ことばを選んで語るべきと言っているけれど、私たちは神様にどのような言い方をしているでしょうか？

祈り■神様、あなたは取るに足りないこの小さな私を心に留め、目をかけてくださり感謝します。